

滝川高校SSH通信

発行：2019年7月18日 SSH・理数科 第12号

旭岳・神居古潭フィールド研修

7月16日(月)～17日(火)

理数科一年生を対象とした「旭岳・神居古潭フィールド研修」が実施されました。旭岳の成り立ち、北海道の成り立ち、地形から歴史を読み解く視点、北海道の自然の素晴らしさをあらためて実感できる研修となりました。

研修初日は、天人峡の柱状節理・羽衣の滝・忠別川の河原・旭岳山頂を周りました。研修二日目は旭岳山麓の湿原探勝路を歩き、環境に適応した植生・旭川の地形を構成している十勝岳噴火火砕流地形などを観察しました。その後、神居古潭にて、北海道の成り立ちを読みとく岩石の観察を行いました。1日の研修のなかで、旭岳から神居古潭まで、標高差の移動があり、植生の垂直分布の変化にも着目しました。

天気にも恵まれ、何より生徒たちの取り組む姿勢は素晴らしく、好奇心旺盛な生徒たちと充実したフィールド研修を実施することができました。



天人峡 柱状節理



忠別川の河原で岩石の説明に熱心に聞き入る生徒たち



ミルフィーユ状の結晶片岩：含まれる鉱物の違いから2種類見られました。



天人峡 羽衣の滝



集合写真



倒木跡：①②③とスケールは小さいが二次遷移が進んでいる様子がわかる。



ミズゴケの中に食虫植物“モウセンゴケ”



高層湿原のワタスゲ

SSHの主な活動は随時滝川高校ホームページに掲載いたします。